



こんにちは！地域おこし協力隊の古田です。かなり涼しくなり、秋らしい季節になってきましたね。

私の方は、今年に入ってから、南条郡森林組合さん全面協力のもと、アメリカの大学生や大阪公立大学の学生団体の体験を受け入れ、林業や農業、獣害対策などのさまざまな現場を体験してもらう機会をつくってきました。



MINAMIECHIZENCHO.JYU
Instagram

そして先日は、東京・有楽町で、これまでの学生受入や南越前町の林業について紹介するイベントを開催しました。

参加された方からは、「初めて聞くことばかりで、とても面白かった」「実際に南越前町へ行くので、もっと詳しく知りたい」といった声をいただき、これまで少しずつ取り組んできたことが、人とのご縁や次の訪問につながり始めていることを、とても嬉しく感じています。

一方で、学生やイベント参加者の皆さんから、共通して聞いた言葉もありました。それは、「体験そのものはすごく面白いけれど、そこに辿り着くまでの入口がまだ少ない」ということです。

学生さんからは、「古田さんに出会えたから、こうした体験ができた。でも、それ以外の接点がないと、他の人が辿り着くのは難しいのでは」との話がありました。

東京のイベントに来てくれた20代の方からは、「自分たちの世代は、行ったことのない場所やお店を調べるときも、ほとんどInstagramを見ています」という話もありました。南越前町には、林業や農業をはじめ、実際に現場へ行き、人に出会うことで初めて分かる面白さがたくさんあります。ただ、その面白さを知ってもらうためには、そこへつながる入口も必要です。

最近では、町の農林水産課でも、町内の第一次産業の魅力を発信するInstagramアカウント「【公式】南越前町農林水産課 🌾山と海と里で生きる 🌲」が開設され、情報発信も始まっています。

こうした新しい発信の動きも含めて、町の中にある面白さを、どうすればもっと多くの人に届けられるのか、私自身も改めて考えるようになりました。「面白いことをやっていれば、自然と誰かに伝わる」というわけではないのだと、今回いろいろな方の話を聞いて実感しています。

SNSなのか、イベントなのか、人づてなのか。南越前町の面白さを知ってもらう入口を、これからどう増やしていくか。「こんな方法があるんじゃない？」というアイデアがあれば、ぜひ皆さんの知恵を貸してください！

任期も残り少なくなってきましたが、これからも南越前町の人や仕事、産業と、外から町に興味を持つ人をつなぐ入口をつくっていきたいと思いますので、応援よろしくお願いします！



こんにちは。地域おこし協力隊の牧野です。まだまだ暑い日もあれば、涼しく感じる日もあり、季節の移り変わりを感じる頃となりました。

先日県外から福井県へ移住を希望される方の移住相談を受けました。その方は県内の他市町も移住先の候補にされていたそうですが、南越前町を訪れ、町のことを知り、話を深めていく中で「この町に移住したい」と言っていただけがありました。しかし、現在はご本人の希望する条件に合う住居が見つからず、移住につなげられておりません。

今回の経験をきっかけに、移住希望者とのマッチングには、空き家情報を少しでも多く収集しなければいけないと感じております。ご近所やご親族などで、「この先どうするのかな？」と気になっているお家がありましたら、まずはお気軽にご相談ください。お話を伺いながら、所有者の方のご意向を尊重しつつ、お話を進めていきたいと考えております。現在、空き家と「移住を希望される方」をつなぐことができる物件を探しています。

■ 問合せ みらい創造課 ☎ 0778-47-8013